

令和 5 年度

松阪市

保健統計報告書

〔 令和 5 年 10 月 1 日時点人口
令和 4 年人口動態 〕

松阪市健康福祉部健康づくり課

〈目 次〉

I. 調査の概要	1
II. 結果の概要	3
III. 調査の結果	4
1、人口静態（令和5年10月1日現在）	4
（1）総人口	4
（2）年齢別人口	5
（3）年齢3区分別人口	6
（4）世帯数	7
2、人口動態（令和4年1月1日～12月31日）	8
率の算出（令和5年10月1日現在）	
（1）人口動態の概況	8
（2）出生	9
①出生数と出生率	9
②出生率の推移	9
③合計特殊出生率	10
④母親の出産年齢	10
⑤出生体重	11
（3）死亡	12
①死亡数・死亡率	12
②死亡率の推移	12
③死因別死亡数・年齢調整死亡率	13
④年齢調整死亡率の比較	14
⑤死因別死亡数の推移	15
⑥死因別死亡	16
⑦悪性新生物の部位別死亡	17
⑧不慮の事故の内訳と比較	18
⑨「新型コロナウイルス感染症」による年齢調整死亡率の比較	18
（4）死産	19
（5）周産期死亡	19
（6）乳児死亡	20
（7）婚姻と離婚	21
【参考資料】地区別人口一覧	22

I. 調査の概要

1、調査の目的

松阪市の人口静態・動態事象を把握し、保健施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2、調査の方法

- ① 人口静態統計は、令和5年10月1日現在の松阪市役所環境生活部戸籍住民課の住民基本台帳を用いて作成した。
- ② 人口動態統計は、市町の人口動態調査票による集計結果を三重県健康福祉部のホームページで公表されたデータを用いた。

人口動態統計は、統計法による指定統計として「戸籍法」及び「死産の届出に関する規定」により届けられた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届出書から、「人口動態調査令」に基づき、市町村長が作成した各調査票をとりまとめたうえ分類・集計したものである。

人口動態統計は、調査票をもとに人口の動的事象を統計的に把握したものであるが、保健衛生、医療対策面はもとより、行政施策の基礎資料として広範囲に活用される基本的な統計である。

- (1) 令和4年年計は、令和4年1月1日から令和5年1月14日までに市町村に届けられたもののうち、令和4年中に事件が発生したもののみを取りまとめた。
- (2) 日本において発生した、日本人に関する事件を集計した。
- (3) 出生、死亡及び死産は、本市に住所を有するもの。
- (4) 婚姻は夫の住所が本市のもの。
- (5) 離婚は別居する前の住所が本市のもの。

ただし、離婚のうち調停、審判及び判決による離婚は、裁判確定の年月日をもって法的に成立するので、同確定日が令和4年中のものについてのみ収録した。

3、用語の解説

- 人 口 静 態：特定の時点でとらえた人口の大きさや構造をあらわしたもの
(毎年 10 月 1 日現在)
- 人 口 動 態：出生・死亡による人口変動(自然動態)と人口移動による変動(社会動態)
とによる人口数・人口構造の変化。時点ではなく、特定の期間を推定してい
て人口の大きさや構造をあらわしたもの。
- 3 区 分 別 人 口：年少人口(0～14 歳)、生産年齢人口(15～64 歳)、老年人口(65 歳以
上)
- 高 齢 化 率：65 歳以上人口が総人口に占める割合
- 自 然 増 減 数：出生数から死亡数を減じたものをいう。
- 乳 児 死 亡：生後 1 年未満の死亡をいう。
- 新 生 児 死 亡：生後 4 週(28 日)未満の死亡をいう。
- 早期新生児死亡：生後 1 週(7 日)未満の死亡をいう。
- 死 産：妊娠満 12 週(妊娠第 4 月)以後の死児の出産をいい、死児とは、出産後
において心臓搏動、随意筋の運動及び呼吸のいずれも認めないものをいう。
- 周 産 期 死 亡：妊娠満 22 週(154 日)以後の死産に早期新生児死亡を加えたものをいう。
(比率の説明)

概要及び統計表に用いた比率¹⁾

- 出 生 率：年間出生数÷10 月 1 日現在人口×1,000
- 死 亡 率：年間死亡数÷10 月 1 日現在人口×1,000
- 自 然 増 減 率：自然増加数÷10 月 1 日現在人口×1,000
- 乳 児 死 亡 率：年間乳児死亡数÷年間出生数×1,000
- 新生児死亡率：年間新生児死亡数÷年間出生数×1,000
- 周産期死亡率：年間周産期死亡数÷(年間出生数+年間の妊娠満 22 週以後の死産数)
×1,000
- 妊娠満 22 週以後の死産率：年間の妊娠満 22 週以後の死産数÷(年間出生数+年間の妊娠
満 22 週以後の死産数)×1,000
- 死 産 率：年間死産数÷年間出産数(死産数+出生数)×1,000
- 早期新生児死亡率：年間早期新生児死亡数÷年間出生数×1,000
- 婚 姻 率：年間婚姻届出件数÷10 月 1 日現在人口×1,000
- 離 婚 率：年間離婚届出件数÷10 月 1 日現在人口×1,000
- 合計特殊出生率：(母の年齢別出生数÷同年齢の女子人口)の 15 歳から 49 歳までの合計²⁾
- 年齢調整死亡率：{観察集団の年齢階級別死亡率×年齢階級別基準人口}の各年齢階級の
(旧訂正死亡率) 総和÷基準人口の総数³⁾×100,000

1) 比率の算出に用いた人口は、令和 4 年 10 月 1 日現在推計人口(総務省統計局)及び
三重県月別人口調査結果(三重県戦略企画部統計課)による。

2) 都道府県別及び市町村別の値は、5 歳階級で算出し、5 倍したものを合計している。

3) 平成 27 年モデル人口による。

Ⅱ. 結果の概要

1、人口静態（令和 5 年 10 月 1 日現在）

- ・ 総人口は 157,646 人、世帯総数は 74,541 世帯。
- ・ 1 年間の総人口は 1,777 人減少、世帯総数は 118 世帯増加。
- ・ 年少人口（0～14 歳）は 18,453 人（11.7%）、生産年齢人口（15～64 歳）は 90,791 人（57.6%）、老年人口（65 歳以上）は 48,402 人（30.7%）。

2、人口動態（令和 4 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

① 出生数

- ・ 出生数は 945 人、前年より 51 人減少。
- ・ 出生率（人口千対）は 6.0。全国の出生率 6.3、三重県 6.2。
- ・ 合計特殊出生率は 1.31。全国 1.26 と三重県 1.4。

② 死亡数

- ・ 死亡数は 2,245 人、前年より 180 人増加。
- ・ 死亡率（人口千対）は 14.4 で前年の 13.1 を上回る。全国の死亡率 12.9、三重県 13.8。
- ・ 死因別死亡数は、第 1 位は悪性新生物 481 人で死亡総数の 21.4%を占める。第 2 位は心疾患 378 人（16.8%）、第 3 位は老衰 337 人（15.0%）。

③ 自然増減数

- ・ 自然増減数（出生数から死亡数を減じたもの）はマイナス 1,300 人。前年のマイナス 1,069 人より 231 人増加。平成 17 年から 17 年連続してマイナス。

④ 婚姻・離婚数

- ・ 婚姻件数は 591 組。前年より 20 組増加。
- ・ 婚姻率（人口千対）は、3.8。前年は 3.6。全国の婚姻率 4.1、三重県 3.8。
- ・ 離婚件数は 256 組。前年より 21 組増加。
- ・ 離婚率（人口千対）は、1.6 で前年より増加している。全国の離婚率 1.5、三重県 1.5。

Ⅲ. 調査の結果

1. 人口静態（令和 5 年 10 月 1 日現在）

（1）総人口

令和 5 年 10 月 1 日現在の松阪市の総人口は 157,646 人である。平成 20 年の総人口 171,388 人をピークに減少し、令和 4 年 10 月から令和 5 年 9 月までの 1 年間で 1,777 人減少した。

図 1. 人口の推移

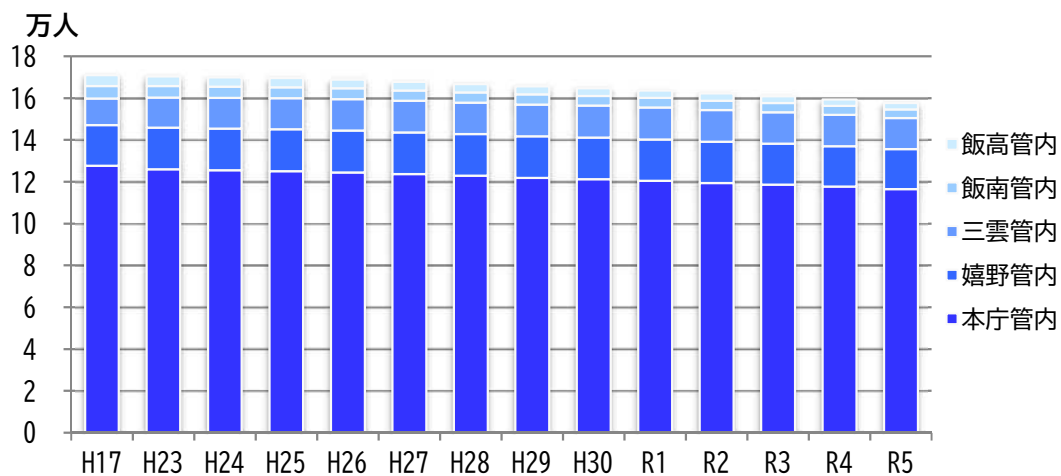


表 1. 管内別人口と推移（人）

年	松阪市	管内				
		本庁	嬉野	三雲	飯南	飯高
H17	168,973	127,142	19,021	12,008	5,800	5,002
H23	170,333	126,007	19,952	14,345	5,427	4,602
H24	169,860	125,487	19,969	14,630	5,323	4,451
H25	169,560	125,119	20,020	14,864	5,228	4,329
H26	168,864	124,455	20,092	14,976	5,141	4,200
H27	167,733	123,642	19,998	15,063	4,977	4,053
H28	166,705	122,863	19,934	15,089	4,875	3,944
H29	165,573	121,837	19,974	15,135	4,798	3,829
H30	164,777	121,282	19,883	15,257	4,664	3,691
R1	163,644	120,477	19,794	15,251	4,572	3,550
R2	162,244	119,473	19,691	15,200	4,448	3,432
R3	160,949	118,662	19,524	15,087	4,351	3,325
R4	159,423	117,691	19,360	14,920	4,255	3,197
R5	157,646	116,466	19,126	14,826	4,137	3,091

令和 5 年 10 月 1 日時点

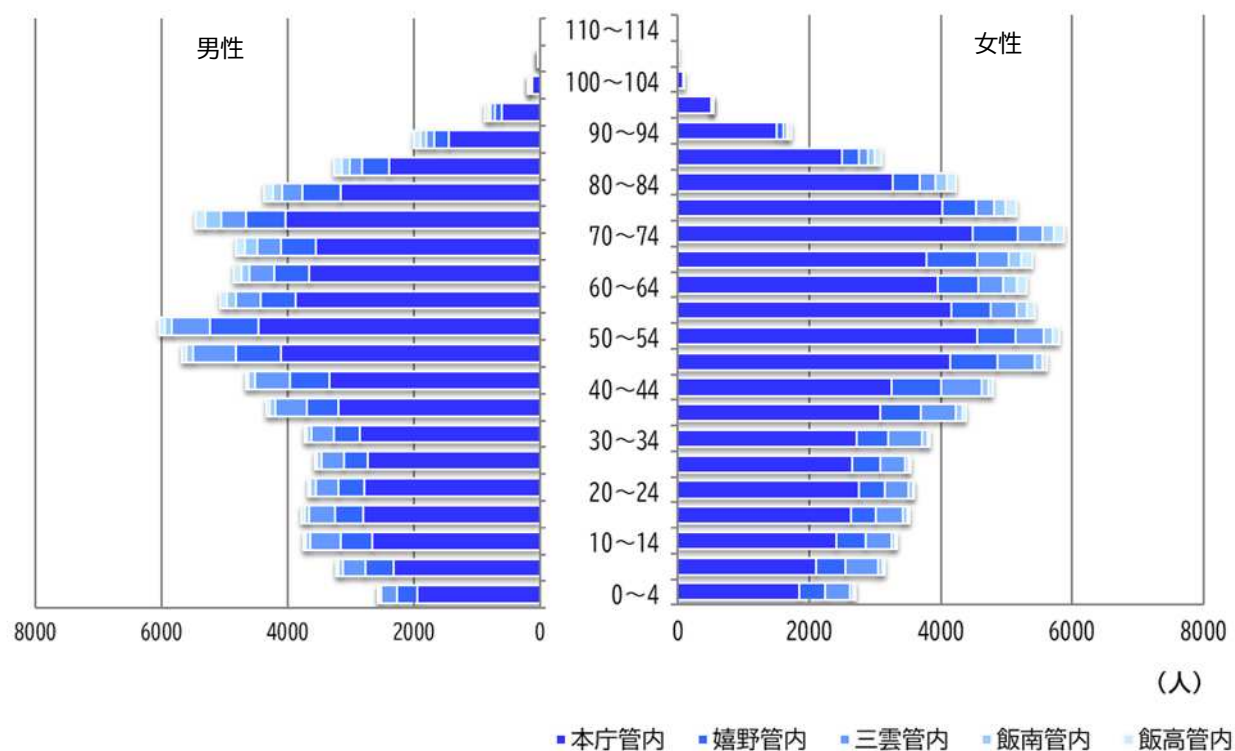
※住民基本台帳（10 月 1 日）による。

ただし H17 年は、国勢調査結果による。

(2) 年齢別人口

令和5年10月1日現在の松阪市の年齢別人口をみると、第1次と第2次ベビーブーム期にあたる70～74歳と45～49歳区分の人口が多い。近年は、昭和46～49年の第2次ベビーブーム期をピークとして出生数が年々減少してきている。

図2. 人口ピラミット



(3) 年齢3区分別人口

令和5年10月1日現在の松阪市の年少人口(0～14歳)は18,453人、生産年齢人口(15～64歳)は90,791人、老年人口(65歳以上)は48,402人であった。高齢化率(65歳以上の高齢者が人口に占める割合)は30.7%であった。

表2. 年齢3区分別人口

	総数(人)	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
松阪市	157,646	18,453	11.7	90,791	57.6	48,402	30.7
本庁管内	116,466	13,298	11.4	67,734	58.2	35,434	30.4
嬉野管内	19,126	2,405	12.6	10,740	56.2	5,981	31.3
三雲管内	14,826	2,220	15.0	9,178	61.9	3,428	23.1
飯南管内	4,137	350	8.5	1,909	46.1	1,878	45.4
飯高管内	3,091	180	5.8	1,230	39.8	1,681	54.4

令和5年10月1日時点

図3. 年齢3区分別人口割合の推移

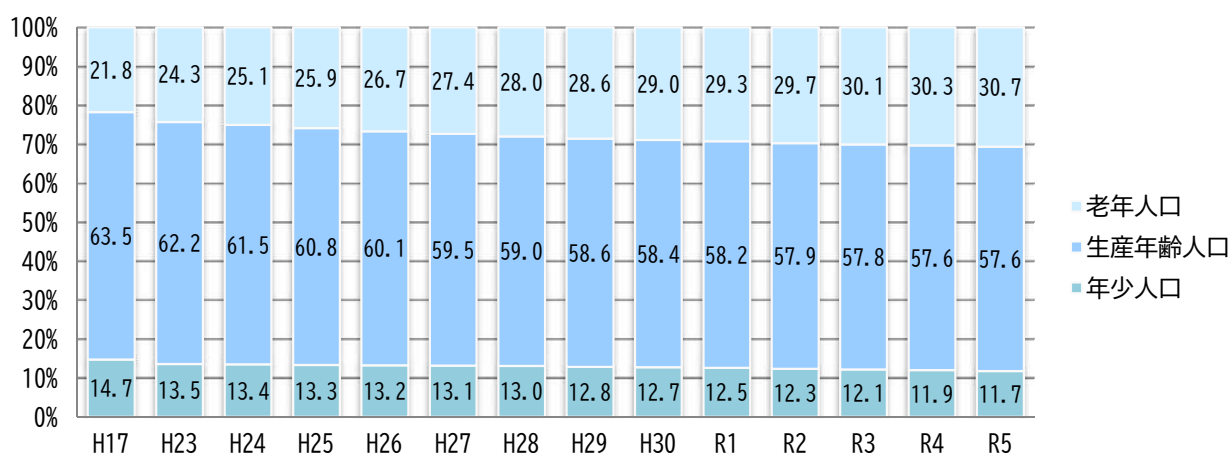
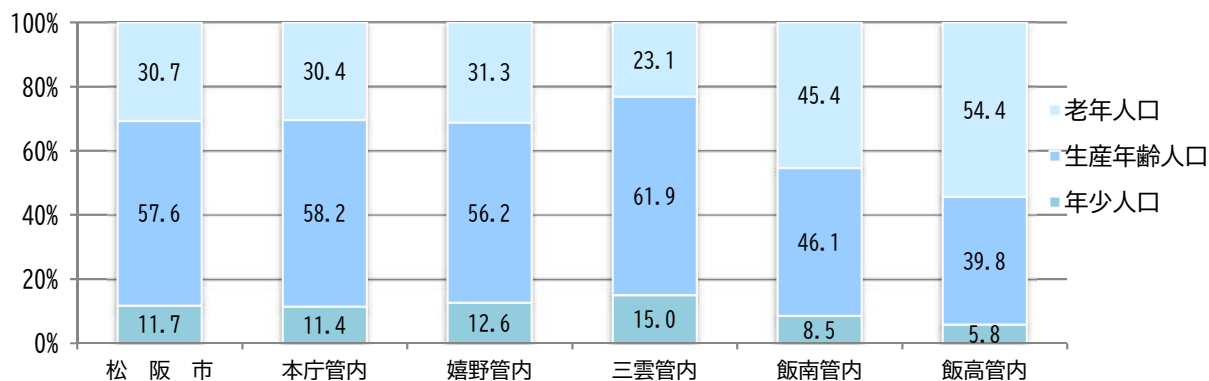


図4. 管内別の年齢3区分別人口割合



令和5年10月1日時点

(4) 世帯数

令和5年10月1日現在の松阪市の世帯総数 74,541 世帯、1世帯当たり平均世帯人員は 2.11 人である。令和4年10月から令和5年9月までの1年間で、世帯総数は 118 世帯増加した。

表3. 人口と世帯数、1世帯あたり人員の推移

	H17	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
人 口	168,973	170,333	169,860	169,560	168,864	167,733	166,705	165,573	164,777	163,644	162,244	160,949	159,423	157,646
世帯数	64,147	69,792	70,407	71,237	71,892	72,218	72,456	72,851	73,360	73,783	74,037	74,303	74,423	74,541
1世帯人員	2.63	2.44	2.41	2.38	2.35	2.32	2.30	2.27	2.25	2.22	2.19	2.17	2.14	2.11

図5. 人口と世帯数、1世帯あたり人員の推移

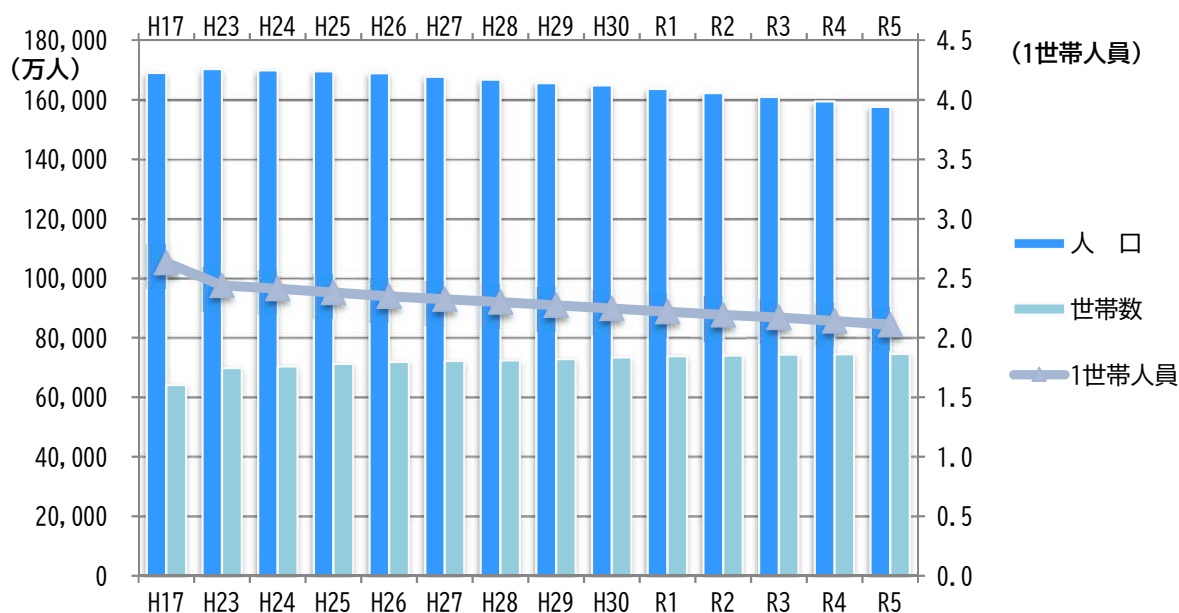


表4. 管内別の人口と世帯数、1世帯あたり人員一覧

	総数 (人)	男性 (人)	女性 (人)	世帯数 (件)	1世帯あたりの人員 (人)
松阪市	157,646	75,886	81,760	74,541	2.11
本庁管内	116,466	56,041	60,425	55,747	2.09
嬉野管内	19,126	9,180	9,946	8,654	2.21
三雲管内	14,826	7,201	7,625	6,577	2.25
飯南管内	4,137	1,997	2,140	1,911	2.16
飯高管内	3,091	1,510	1,624	1,652	1.87

令和5年10月1日時点

2. 人口動態（令和4年1月1日～12月31日）

※率の算出：分母に用いた人口は、総務省統計局「令和4年10月1日現在推計人口」の三重県内の日本人人口（松阪市総数 156,324 人、男 74,834 人、女 81,490 人）を用いている。

（1）人口動態の概況

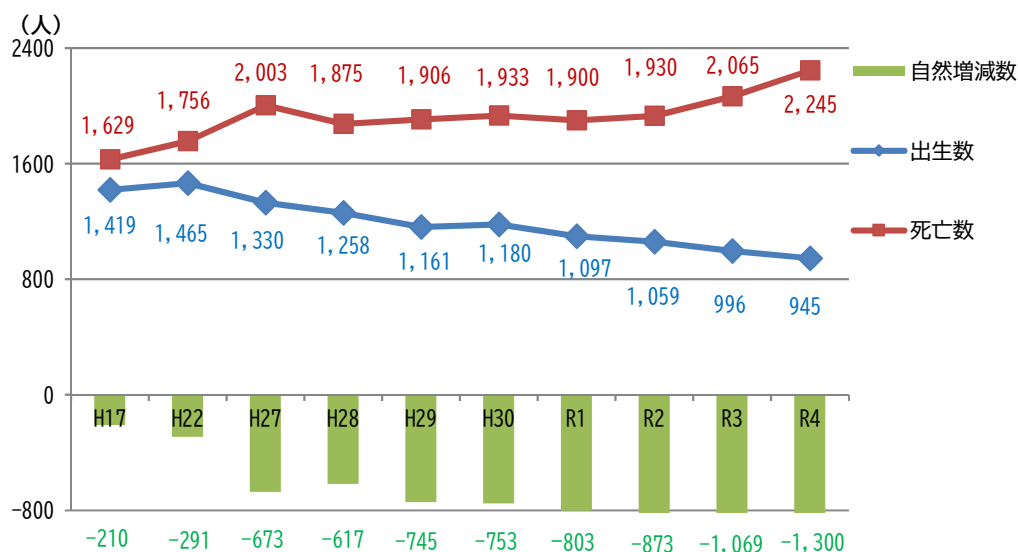
令和4年の一年間の出生数は945人、死亡数は2,245人であり、自然増減数はマイナス1,300人であった。平成17年以降、死亡率が出生率を上回り、自然増減数はマイナスである。

表5. 人口動態一覧

	松阪市			全国		三重県	
	実数（人）			率（％）		率（％）	
	R4	R3	対前年増減	R4	R3	R4	
出生	945	996	△ 51	6.0	6.3	6.3	6.2
死亡	2,245	2,065	180	14.4	13.1	12.9	13.8
乳児死亡	2	1	1	2.1	1.0	1.8	0.9
新生児死亡	0	1	△ 1	-	1.0	0.8	0.4
自然増減	△ 1,300	△ 1,069	△ 231	△ 8.3	△ 6.8	△ 6.5	△ 7.6
合計特殊出生率	-	-	-	1.31	1.35	1.26	1.40
死産	17	17	0	17.7	16.8	19.3	17.2
婚姻	591	571	20	3.8	3.6	4.1	3.8
離婚	256	235	21	1.6	1.5	1.5	1.5

（三重県衛生統計年報より）

図6. 出生数と死亡数の推移



(2) 出生

①出生数・出生率

令和4年の出生数は、945人（男児481人、女児464人）で、前年の出生数996人より51人減少し、出生率（人口千対）は6.0。

表6. 出生数と出生率

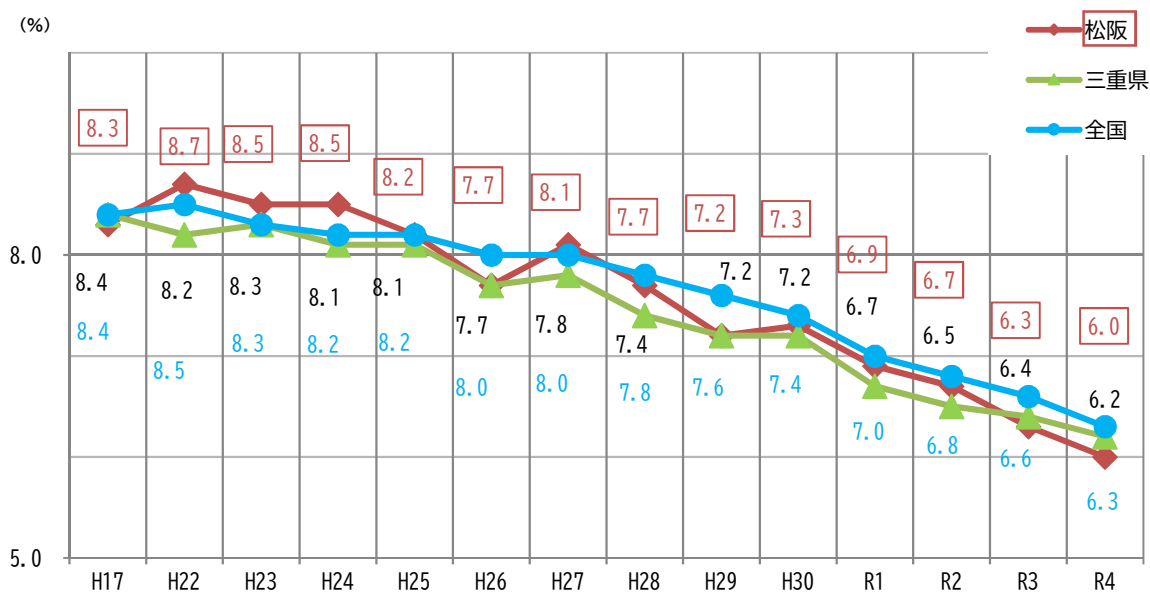
出生数			出生率（%）
総数	男児	女児	
945	481	464	6.0

（三重県衛生統計年報より）

②出生率の推移

松阪市の出生率は、近年、全国・三重県と同様に減少傾向である。

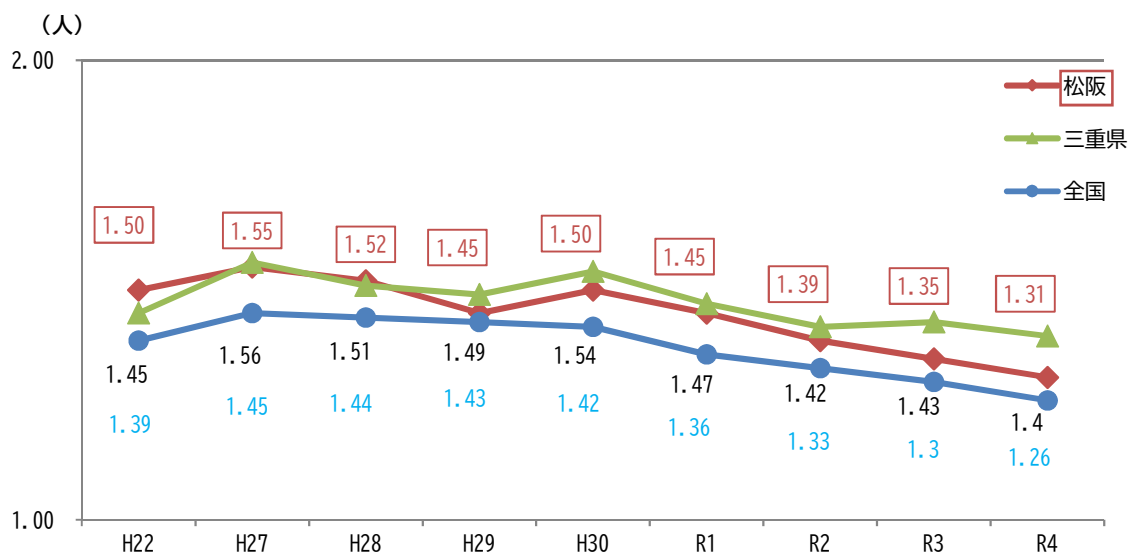
図7. 出生率の推移



③合計特殊出生率

令和4年の合計特殊出生率は、1.31で前年の1.35を下回った。

図8. 合計特殊出生率の推移



④母親の出産年齢

令和4年の母親の出産年齢別の割合は、30歳～34歳が33.4%で最も多かった。

図9-①. 母親の出産年齢

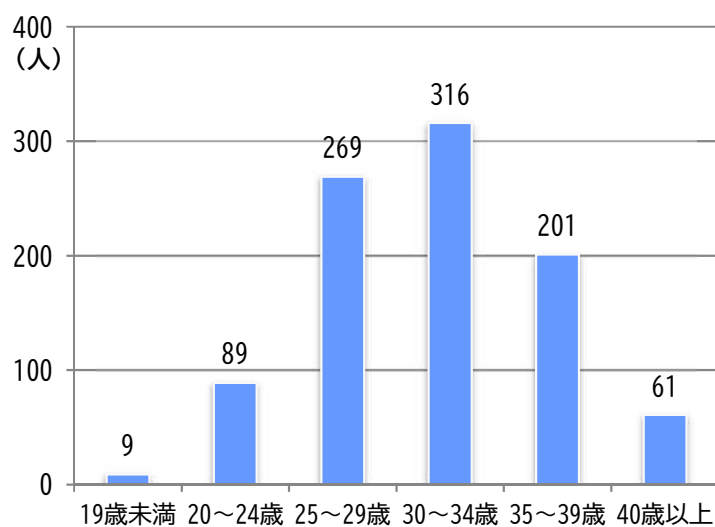
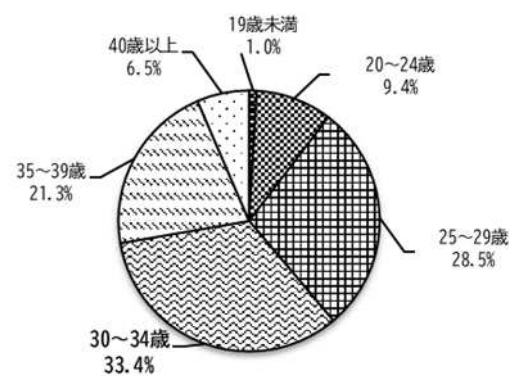


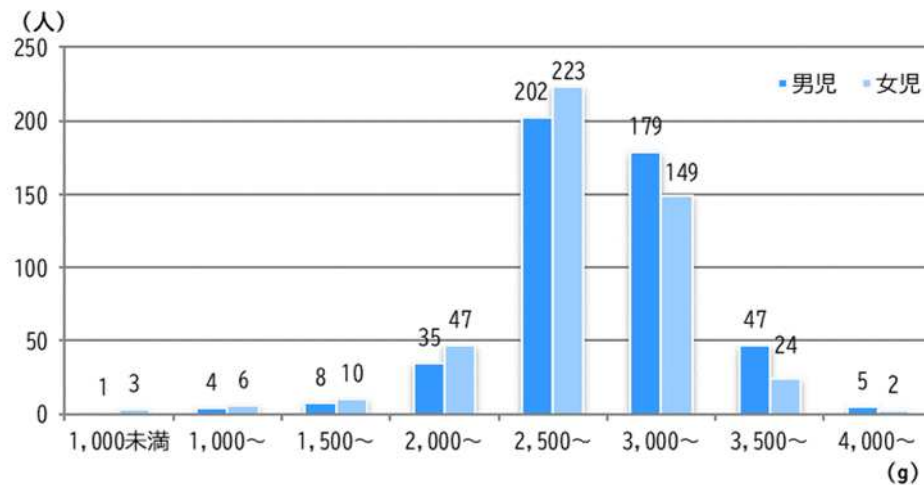
図9-②. 母親の出産年齢の割合



⑤出生体重

令和4年の出生数945人（男児481人、女児464人）のうち、2,500g未満の低出生体重児は114人で、割合は12.1%であった。また、1,500g未満の極低出生体重児は14人（1.5%）であり、1,000g未満の超低出生体重児は、4人（0.4%）であった。

図10. 出生体重別人数



(3) 死 亡

① 死亡数・死亡率

令和4年の一年間の死亡数は2,245人で、前年の死亡数2,065人より180人増加した。うち男性1,154人、女性1,091人であった。人口千人に対する粗死亡率（以下、死亡率）は14.4で、前年の13.1を上回った。

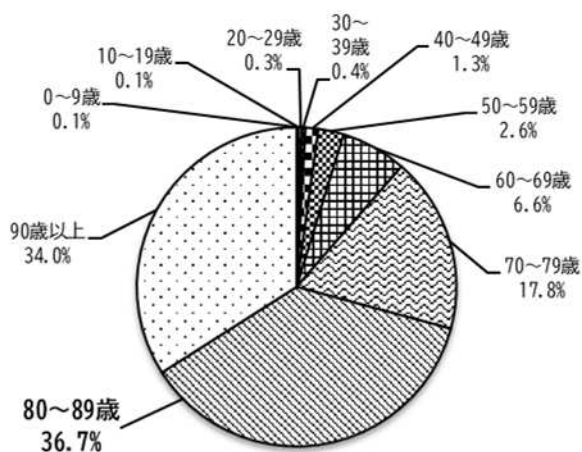
年代別の死亡数をみると、80～89歳が761人（36.9%）と最も多かった。

表7. 死亡数・率と65歳以上の死亡状況

死亡数			死亡率 (%)	65歳以上（再掲）		75歳以上（再掲）	
総数	男	女		実数（人）	率（%）	実数（人）	率（%）
2,245	1,154	1,091	14.4	2,083	92.8	1,804	80.4

（三重県衛生統計年報より）

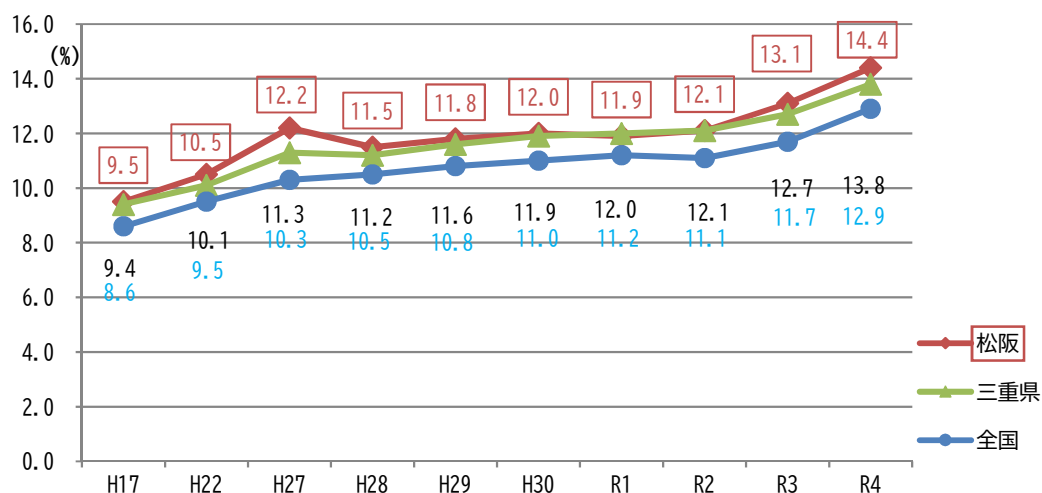
図11. 年齢別死亡人数の割合



②死亡率の推移

人口の高齢化の影響により、上昇傾向にある。

図12. 死亡率の推移



③死因別死亡数・年齢調整死亡率

令和4年の主要死因は、悪性新生物（21.4%）、心疾患（16.8%）、老衰（15.0%）、脳血管疾患（6.9%）の順であった。令和3年の死因別死亡数と比較すると第4位の順位において、脳血管疾患とその他の呼吸器系の疾患の順位が入れ替わった。また、全国的な傾向と同様に第8位に血管性及び詳細不明の認知症、第9位にアルツハイマー病が加わり、順位が上昇した。

表8-①. 死因別死亡数と年齢調整死亡率（人口10万対）

順位	全 体		
	死 因	人数	年齢調整死亡率
1	悪性新生物＜腫瘍＞	481	256.06
2	心疾患（高血圧性を除く）	378	181.68
3	老衰	337	141.43
4	脳血管疾患	156	77.86
5	その他の呼吸器系の疾患	146	68.36
6	肺炎	106	48.42
7	不慮の事故	58	29.05
8	血管性及び詳細不明の認知症	49	21.40
9	アルツハイマー病	42	19.10
10	腎不全	41	19.17
-	その他	451	
	総計	2,245	1090.77

（三重県衛生統計年報より）

図13. 死亡総数に占める割合

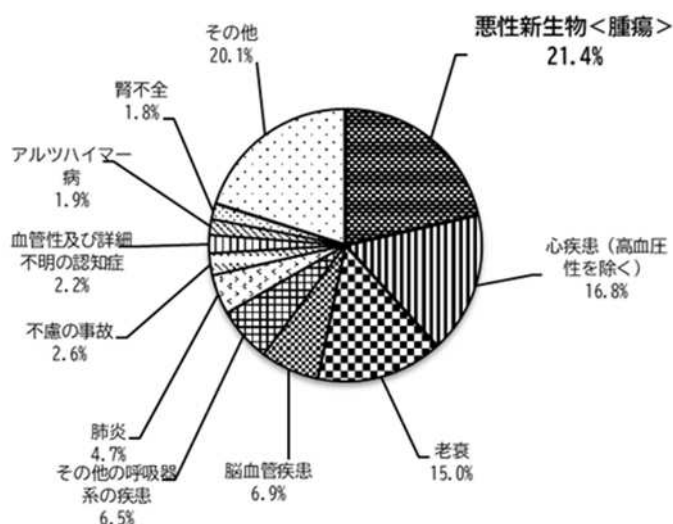


表8-②. 男女別の死因別死亡者数と年齢調整死亡率（人口10万対）

順位	男性			順位	女性		
	死因	人数	年齢調整死亡率		死因	人数	年齢調整死亡率
1	悪性新生物＜腫瘍＞	283	365.40	1	老衰	227	130.79
2	心疾患（高血圧性を除く）	192	181.68	2	悪性新生物＜腫瘍＞	198	182.89
3	老衰	110	156.98	3	心疾患（高血圧性を除く）	186	131.70
4	その他の呼吸器系の疾患	94	123.83	4	脳血管疾患	88	65.48
5	脳血管疾患	68	87.93	5	その他呼吸器系の疾患	52	36.58
6	肺炎	58	79.50	6	肺炎	48	30.61
7	不慮の事故	44	60.09	7	血管性及び詳細不明の認知症	33	20.61
8	自殺	24	32.72	8	アルツハイマー病	22	14.37
9	慢性閉塞性肺疾患	23	29.76	9	腎不全	18	13.25
9	腎不全	23	31.28	10	大動脈瘤及び解離	17	12.92
10	アルツハイマー病	20	26.32	-	その他	202	
-	その他	215			総計	1091	794.50
	総計	1154	1532.47				

④年齢調整死亡率の比較

松阪市の年齢調整死亡率は、三重県と比較すると心疾患、その他呼吸器系の疾患、肺炎、腎不全、アルツハイマー、血管性及び詳細不明の認知症が多かった。

表９．年齢調整死亡率の比較

死因順位		松阪市				三重県		
		死亡数	年齢調整死亡率			年齢調整死亡率		
			総数	男女別		総数	男女別	
				男	女		男	女
1	悪性新生物＜腫瘍＞	481	256.06	365.40	182.89	267.76	378.79	189.14
2	心疾患	378	181.68	254.68	131.70	161.85	215.45	124.17
3	老衰	337	141.43	156.98	130.79	149.12	141.58	149.54
4	脳血管疾患	156	77.86	87.93	65.48	71.10	84.79	58.68
5	その他の呼吸器系の疾患	146	68.36	123.83	36.58	60.61	104.91	34.18
6	肺炎	106	48.42	79.50	30.61	45.81	78.20	25.63
7	不慮の事故	58	29.05	60.09	9.57	29.61	45.88	19.17
8	血管性及び詳細不明の認知症	49	21.40	21.32	20.61	16.94	19.32	15.04
9	アルツハイマー	42	19.10	26.32	14.37	11.09	10.94	10.72
10	腎不全	41	19.17	31.28	13.25	20.99	31.19	15.32
	その他	451						
総計		2245	1090.77	1532.47	794.50	1068.05	1435.61	808.98

(三重県衛生統計年報より)

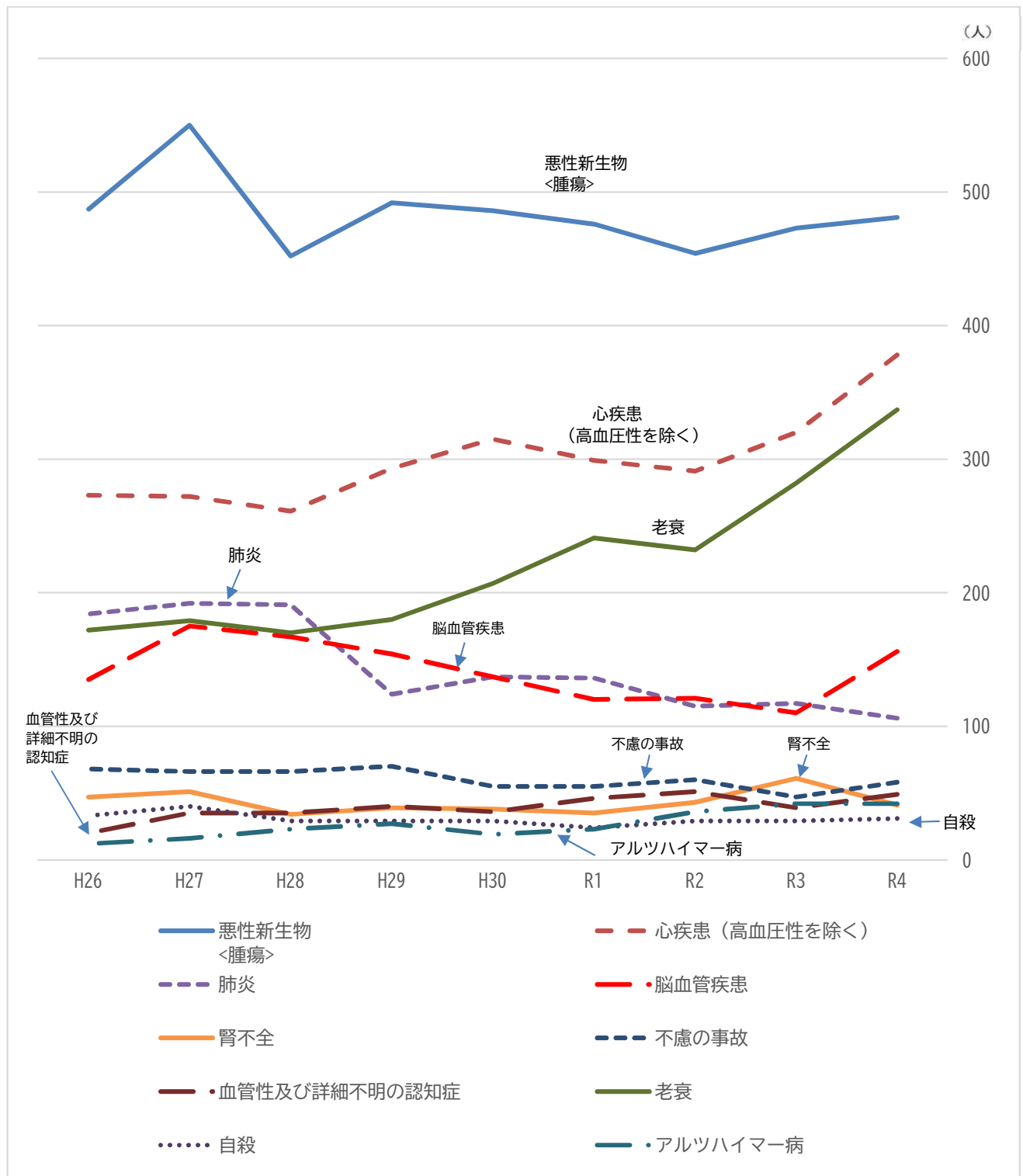
※「心疾患」は、「心疾患（高血圧性を除く）」である

※その他の呼吸器系の疾患は誤嚥性肺炎、間質性肺炎、その他呼吸器の疾患を含む

⑤死因別死亡数の推移

松阪市の死因別死亡の推移をみると、悪性新生物と心疾患の順位の変化はない。
脳血管疾患の順位が高くなり、肺炎の順位が低下している。

図 14. 死因別死亡数の推移



⑥死因別死亡

表 10. 死因別死亡一覧（人）（R4）

病 名	死因簡単分類コード	死亡数	男性	女性
腸管感染症	01100	4	2	2
結核	01200	1	-	1
敗血症	01300	13	7	6
ウイルス性肝炎	01400	4	3	1
ヒト免疫不全ウイルス（HIV）病	01500	-	-	-
悪性新生物＜腫瘍＞	02100	481	283	198
その他の新生物＜腫瘍＞	02121	9	6	3
貧血	03100	1	-	1
糖尿病	04100	15	8	7
血管性及び詳細不明の認知症	05100	49	16	33
髄膜炎	06100	-	-	-
脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	06200	2	1	1
パーキンソン病	06300	16	9	7
アルツハイマー病	06400	42	20	22
眼及び付属器の疾患	07000	-	-	-
耳及び乳様突起の疾患	08000	-	-	-
高血圧性疾患	09100	15	4	11
心疾患（高血圧性を除く）	09200	378	192	186
脳血管疾患	09300	156	68	88
大動脈瘤及び解離	09400	35	18	17
インフルエンザ	10100	-	-	-
肺炎	10200	106	58	48
急性気管支炎	10300	-	-	-
慢性閉塞性肺疾患	10400	26	23	3
喘息	10500	-	-	-
その他の呼吸器系の疾患	10600	146	94	52
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	11100	1	1	-
ヘルニア及び腸閉塞	11200	13	4	9
肝疾患	11300	17	10	7
皮膚及び皮下組織の疾患	12000	10	3	7
筋骨格系及び結合組織の疾患	13000	7	5	2
糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	14100	12	3	9
腎不全	14200	41	23	18
妊娠、分娩及び産じょく	15000	-	-	-
周産期に発生した病態	16000	-	-	-
先天奇形、変形及び染色体異常	17000	1	-	1
老衰	18100	337	110	227
乳幼児突然死症候群	18200	-	-	-
不慮の事故	20100	58	44	14
自殺	20200	31	24	7
他殺	20300	-	-	-

（三重県衛生統計年報より）

⑦悪性新生物の部位別死亡

表 11-①. 悪性新生物の部位別死亡

全体			
順位	部位	人数（人）	割合（％）
1	気管，気管支及び肺	93	22.7
2	膵	56	13.7
3	胃	51	12.4
4	結腸	48	11.7
5	肝及び肝内胆管	29	7.1
6	悪性リンパ腫	23	5.6
7	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	21	5.1
8	食道	20	4.9
9	前立腺	18	4.4
10	乳房	16	3.9
-	その他	35	8.5
総数		410	100.0

（三重県衛生統計年報より）

表 11-②. 男女別の悪性新生物の部位別死亡

男性				女性			
順位	部位	人数（人）	割合（％）	順位	部位	人数（人）	割合（％）
1	気管，気管支及び肺	66	26.3	1	気管，気管支及び肺	27	15.5
2	膵	35	13.9	1	膵	27	15.5
3	胃	31	12.4	2	胃	21	12.1
4	肝及び肝内胆管	23	9.2	3	乳房	20	11.5
5	結腸	21	8.4	4	悪性リンパ腫	15	8.6
6	前立腺	18	7.2	5	直腸S状結腸移行部及び直腸	12	6.9
6	食道	18	7.2	6	子宮	11	6.3
7	悪性リンパ腫	11	4.4	7	悪性リンパ腫	9	5.2
8	膀胱	10	4.0	8	胆のう及びその他の胆道	7	4.0
8	直腸S状結腸移行部及び直腸	10	4.0	9	肝及び肝内胆管	6	3.4
-	その他	8	3.2	-	その他	19	10.9
総数		251	100.0	総数		174	100.0

（三重県衛生統計年報より）

⑧不慮の事故の内訳と比較

松阪市では、三重県と比較すると転倒・転落、交通事故、煙・火及び火災への曝露、有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露による死亡割合が多くなっている。

表 12. 不慮の事故の内訳と比較

内 訳	松阪市		三重県		全国	
	実人数 (人)	割合 (%)	実人数 (人)	割合 (%)	実人数 (人)	割合 (%)
転倒・転落	18	31.6	192	30.3	11,569	26.6
交通事故	8	14.0	71	11.2	3,541	8.2
不慮の溺死及び溺水	6	10.5	93	14.7	8,677	20.0
不慮の窒息	10	17.5	128	20.2	8,710	20.1
煙・火及び火災への曝露	1	1.8	10	1.6	967	2.2
有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	1	1.8	4	0.6	569	1.3
その他の不慮の事故	13	22.8	136	21.5	9,387	21.6
総数	57	100.0	634	69.7	43,420	100.0

(三重県衛生統計年報より)

⑨新型コロナウイルス感染症等による「その他の特殊目的用コード」年齢調整死亡率の比較

令和元年 12 月に中国の武漢市において新型コロナウイルス感染症の 1 例目報告後、世界的感染拡大し令和 2 年 3 月にはパンデミックとなった。日本国内では 1 月 15 日に 1 例目の患者が発生した後 2 月 1 日に指定感染症に指定され感染拡大し、4 年間経過した。令和 5 年 5 月 8 日から日本では「5 類感染症」の位置づけとなった。また、令和 2 年から死因欄に「その他の特殊目的用コード」（新型コロナウイルス感染症等）*が追加された。令和 4 年度の新型コロナウイルス感染症等による「その他の特殊目的用コード」年齢調整死亡率は、松阪市 4.15%、三重県 6.26%であった。

表 13. 「その他の特殊目的用コード」年齢調整死亡率の比較

年 度	松阪市						三重県					
	死亡数		男性		女性		死亡数		男性		女性	
	実人数 (人)	年齢調整死亡率 (人口10万 対)(%)	実人数 (人)	年齢調整死亡率 (人口10万 対)(%)	実人数 (人)	年齢調整死亡率 (人口10万 対)(%)	実人数 (人)	年齢調整死亡率 (人口10万 対)(%)	実人数 (人)	年齢調整死亡率 (人口10万 対)(%)	実人数 (人)	年齢調整死亡率 (人口10万 対)(%)
R2	1	0.54	-	-	1	1.02	17	0.82	10	1.17	7	0.55
R3	10	5.14	7	9.12	3	2.67	158	7.81	102	12.51	56	4.55
R4	36	4.15	15	4.53	21	3.98	527	6.26	269	8.90	258	4.22

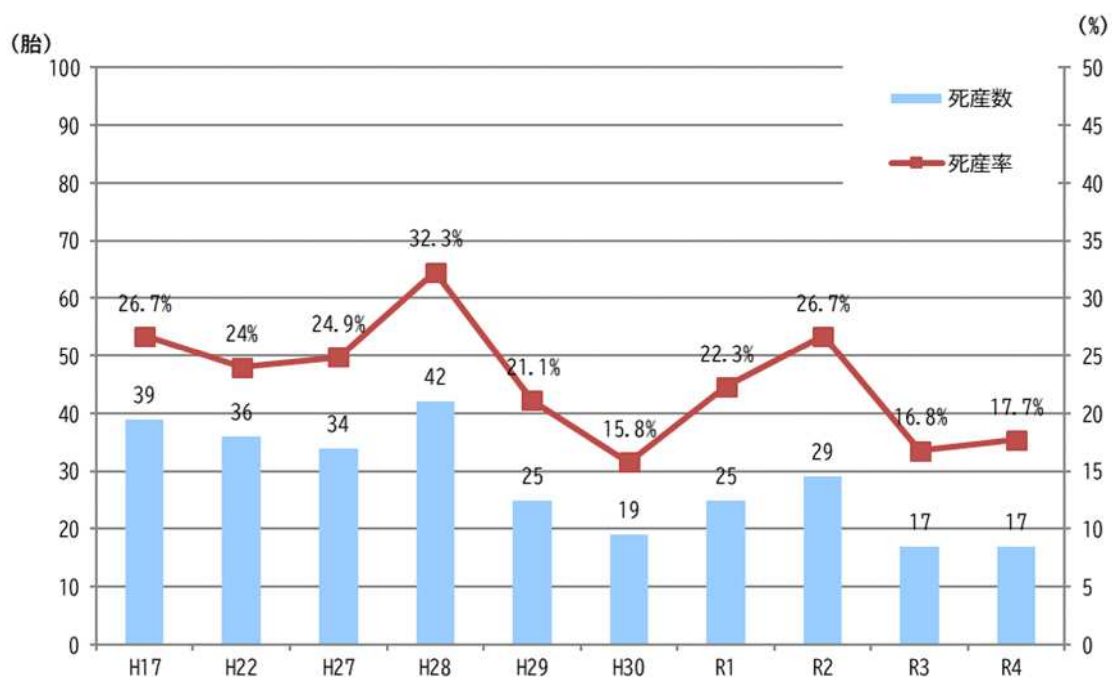
(三重県衛生統計年報より)

*三重県ホームページ 「令和 3 年三重県の人口動態」より引用（令和 6 年 5 月 29 日アクセス）

(4) 死産

妊娠満 12 週（妊娠第 4 月）以後の死児の出産を死産といい、令和 4 年に届出のあった死産数は 17 胎、死産率は 17.7%であった。

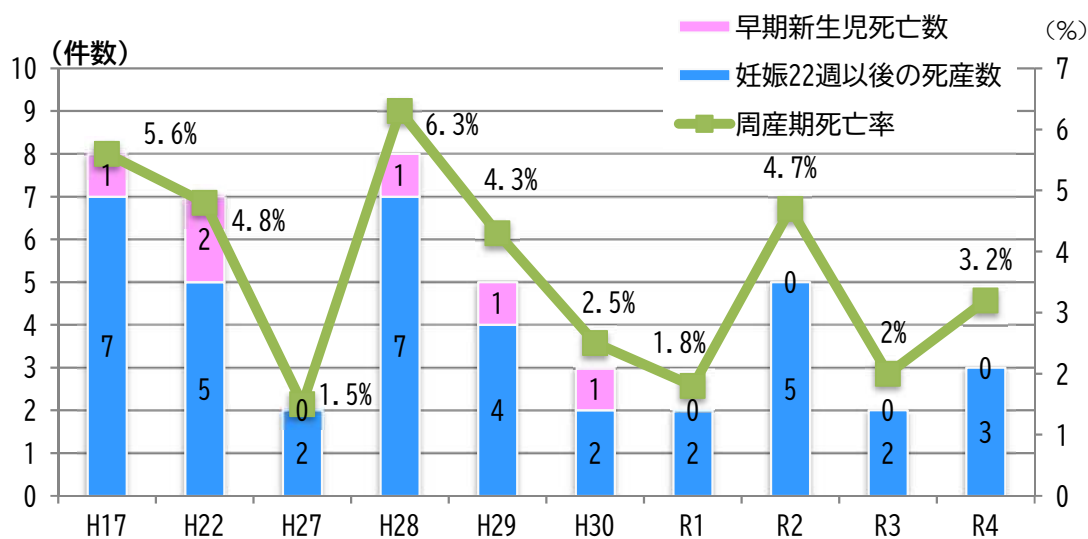
図 15. 死産の推移



(5) 周産期死亡

令和 4 年の周産期死亡数は、3 件（妊娠満 22 週以後の死産 3 胎、生後 1 週未満の早期新生児死亡 0 人）、周産期死亡率は、3.2%であった。

図 16. 周産期死亡の推移



(6) 乳児死亡

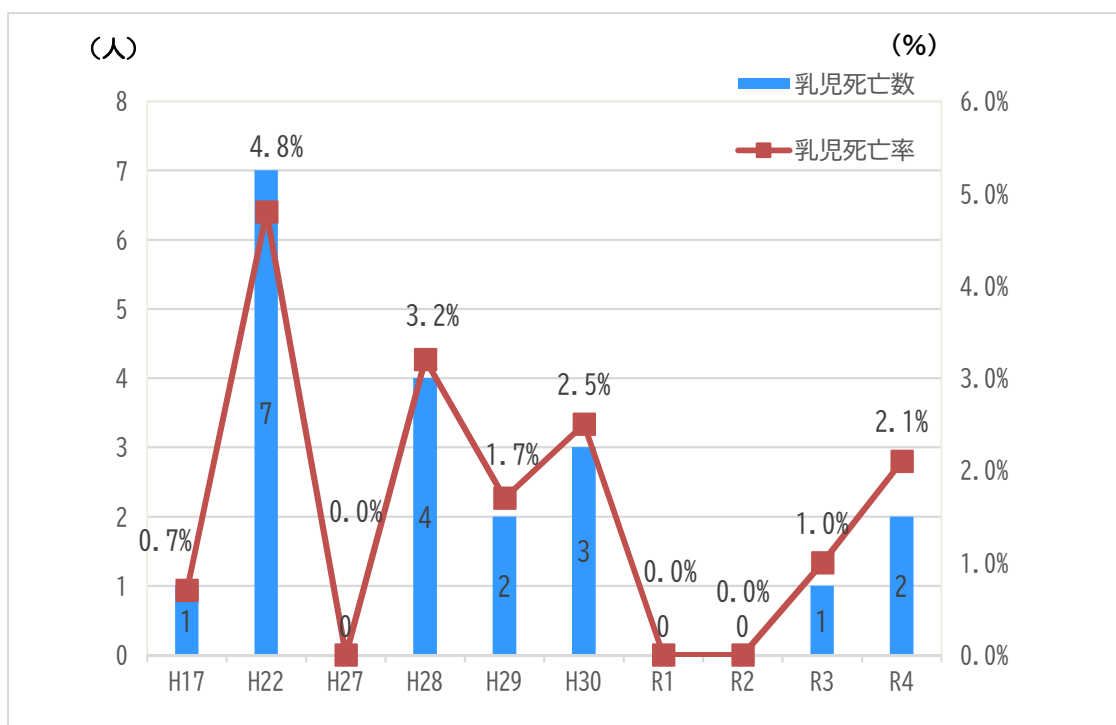
令和4年の乳児死亡（生後1年未満の死亡）数は2人であった。

表 14. 乳児死亡の推移（人）

乳児死亡の内訳	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
乳児死亡数	1	7	0	4	2	3	0	0	1	2
新生児死亡数（再掲）	0	2	0	2	1	1	0	0	1	0
早期新生児死亡数（再掲）	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0

（三重県衛生統計年報より）

図 17. 乳児死亡と乳児死亡率の推移



(7) 婚姻と離婚

令和4年の婚姻数は591組、婚姻率は3.8であり、離婚数256組、離婚率は1.6であった。

表15. 婚姻数・離婚数の推移(組)

	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
婚姻届	861	867	808	741	728	652	701	609	571	591
離婚届	346	351	298	303	270	323	266	266	235	256

(三重県衛生統計年報より)

図18. 婚姻率の推移

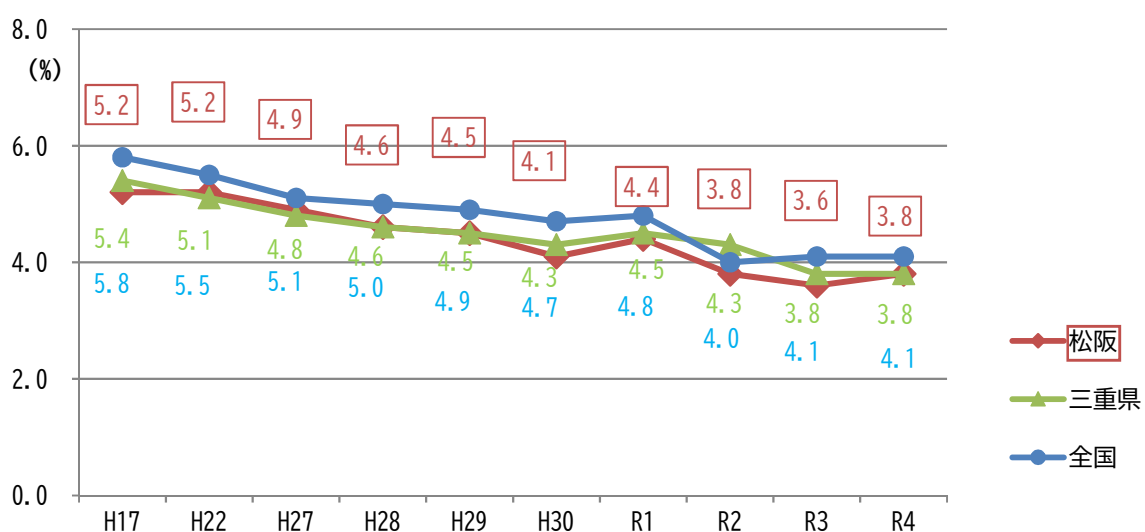
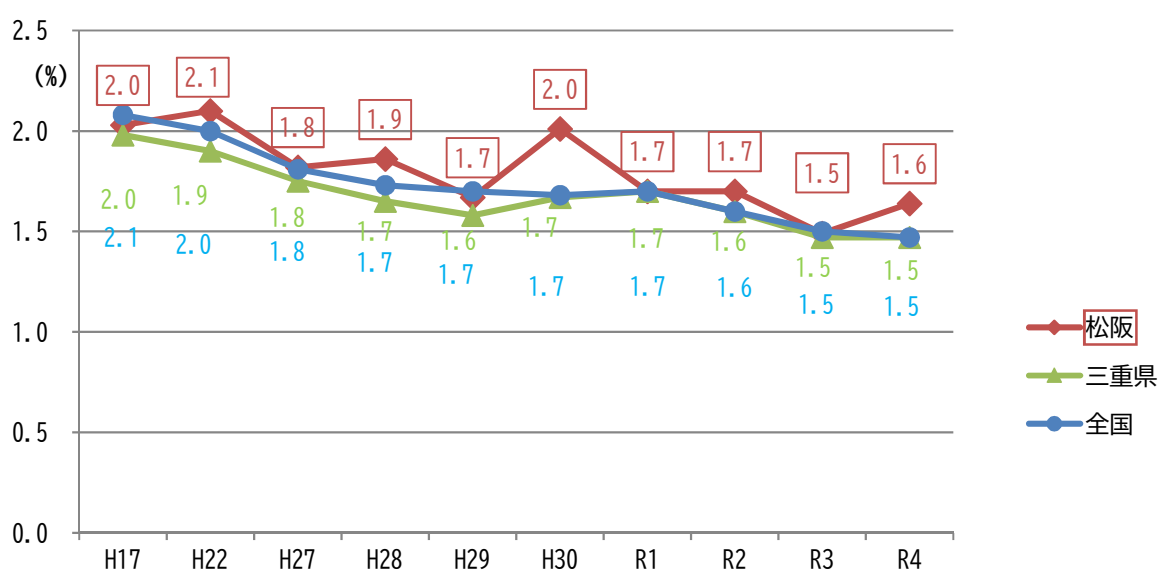


図19. 離婚率の推移



【参考資料】地区別人口一覧

管内	地区	住民基本台帳による 人口（令和5年10月1日現在）			世帯数	年齢3区分別人口（人）			年齢3区分別構成割合（％）			高齢化率（％）
		計	男	女		年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	
本庁管内	第一	3,150	1,424	1,726	1,634	266	1,643	1,241	8.4	52.2	39.4	39.4
	第二	2,099	923	1,176	1,176	162	1,058	879	7.7	50.4	41.9	41.9
	第三	5,648	2,658	2,990	2,712	702	3,265	1,681	12.4	57.8	29.8	29.8
	第四	11,220	5,528	5,692	5,578	1,487	7,407	2,326	13.3	66.0	20.7	20.7
	幸	7,274	3,378	3,896	3,398	973	4,078	2,223	13.4	56.1	30.6	30.6
	東	3,202	1,538	1,664	1,690	420	1,868	914	13.1	58.3	28.5	28.5
	神戸	11,225	5,484	5,741	5,512	1,584	6,838	2,803	14.1	60.9	25.0	25.0
	松江	4,918	2,347	2,571	2,357	550	2,790	1,578	11.2	56.7	32.1	32.1
	朝見	1,875	912	963	850	195	969	711	10.4	51.7	37.9	37.9
	伊勢寺	3,478	1,653	1,825	1,553	352	1,746	1,380	10.1	50.2	39.7	39.7
	機殿	1,148	561	587	487	98	559	491	8.5	48.7	42.8	42.8
	花岡	21,500	10,318	11,182	10,494	2,600	12,802	6,098	12.1	59.5	28.4	28.4
	松尾	5,071	2,533	2,538	2,122	546	3,181	1,344	10.8	62.7	26.5	26.5
	阿坂	1,765	852	913	766	148	835	782	8.4	47.3	44.3	44.3
	港	4,149	2,053	2,096	1,945	409	2,369	1,371	9.9	57.1	33.0	33.0
	松ヶ崎	1,364	664	700	665	79	706	579	5.8	51.8	42.4	42.4
	西黒部	1,917	901	1,016	835	153	981	783	8.0	51.2	40.8	40.8
	東黒部	1,083	492	591	491	87	516	480	8.0	47.6	44.3	44.3
	宇気郷	120	54	66	79	2	43	75	1.7	35.8	62.5	62.5
	大石	1,365	657	708	691	104	660	601	7.6	48.4	44.0	44.0
	茅広江	628	311	317	274	60	306	262	9.6	48.7	41.7	41.7
	射和	3,202	1,534	1,668	1,468	365	1,759	1,078	11.4	54.9	33.7	33.7
	漕代	1,804	876	928	799	144	940	720	8.0	52.1	39.9	39.9
	大河内	1,827	875	952	825	171	860	796	9.4	47.1	43.6	43.6
	柳田	3,766	1,841	1,925	1,665	411	2,017	1,338	10.9	53.6	35.5	35.5
	徳和	11,668	5,674	5,994	5,681	1,230	7,538	2,900	10.5	64.6	24.9	24.9
	計	116,466	56,041	60,425	55,747	13,298	67,734	35,434	11.4	58.2	30.4	30.4
嬉野管内	宇気郷	110	54	56	66	7	28	75	6.4	25.5	68.2	68.2
	中郷	867	409	458	428	65	382	420	7.5	44.1	48.4	48.4
	豊地	3,122	1,520	1,602	1,405	304	1,642	1,176	9.7	52.6	37.7	37.7
	中川	9,811	4,697	5,114	4,436	1,437	6,014	2,360	14.6	61.3	24.1	24.1
	豊田	2,577	1,218	1,359	1,098	327	1,336	914	12.7	51.8	35.5	35.5
	中原	2,639	1,282	1,357	1,221	265	1,338	1,036	10.0	50.7	39.3	39.3
	計	19,126	9,180	9,946	8,654	2,405	10,740	5,981	12.6	56.2	31.3	31.3
三雲管内	米ノ庄	2,695	1,275	1,420	1,202	429	1,507	759	15.9	55.9	28.2	28.2
	天白	6,452	3,134	3,318	2,821	1,021	4,230	1,201	15.8	65.6	18.6	18.6
	鵠	1,970	956	1,014	882	209	1,139	622	10.6	57.8	31.6	31.6
	小野江	3,709	1,836	1,873	1,672	561	2,302	846	15.1	62.1	22.8	22.8
	計	14,826	7,201	7,625	6,577	2,220	9,178	3,428	15.0	61.9	23.1	23.1
飯南管内	深野	867	430	437	376	77	395	395	8.9	45.6	45.6	45.6
	横野	431	200	231	201	36	183	212	8.4	42.5	49.2	49.2
	下仁柿	195	97	98	107	9	80	106	4.6	41.0	54.4	54.4
	上仁柿	202	106	96	101	6	85	111	3.0	42.1	55.0	55.0
	有間野	292	136	156	153	22	132	138	7.5	45.2	47.3	47.3
	向粥見	415	204	211	220	24	200	191	5.8	48.2	46.0	46.0
	粥見	1,735	824	911	753	176	834	725	10.1	48.1	41.8	41.8
	計	4,137	1,997	2,140	1,911	350	1,909	1,878	8.5	46.1	45.4	45.4
飯高管内	宮前	1,377	655	722	656	129	616	632	9.4	44.7	45.9	45.9
	川俣	841	401	440	482	26	316	499	3.1	37.6	59.3	59.3
	森	471	224	247	268	16	188	267	3.4	39.9	56.7	56.7
	波瀬	402	187	215	246	9	110	283	2.2	27.4	70.4	70.4
	計	3,091	1,467	1,624	1,652	180	1,230	1,681	5.8	39.8	54.4	54.4
松阪市		157,646	75,886	81,760	74,541	18,453	90,791	48,402	11.7	57.6	30.7	30.7

